

【参考2】

体細胞クローン牛肉に対する
試食アンケート調査の結果

－問題別研究会の際に実施した調査－

1. 調査の概要

問題別研究会 (21.12.15) の際、体細胞クローン肥育牛 (黒毛和種, 去勢, 37カ月齢, A4程度) 由来の各部位 (肩ロース, もも, ばら, サーロイン) の焼肉を希望者 (51名; 男性45名, 女性6名) に食べてもらうと同時に、体細胞クローン牛および後代牛に対する意識も調査した。

調査参加者の年齢は、20代:3名, 30代:13名, 40代:21名, 50代:14名, 60代:1名であった。彼らの職業は、公務員:18名, 団体職員:18名, 大学教員・研究員:10名, その他:5名) であった。45.1% (23名) の参加者が体細胞クローン牛肉の試食が初体験であった。

2. アンケートの結果

味については、「おいしい」:34名, 「ややおいしい」:11名, 「普通」:3名, 「ややまずい」:2名, 「無回答」:1名であった。体細胞クローン牛に対する違和感については、初体験者、経験者ともに、「全くない」、「殆どない」が大半を占めた (図1)。さらに、体細胞クローン牛肉の購入意識を尋ねた結果、体細胞クローン牛肉試食

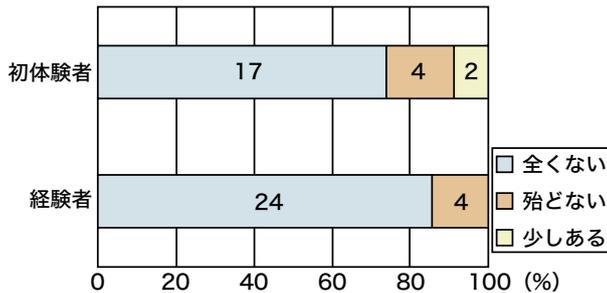


図1. 体細胞クローン牛への違和感

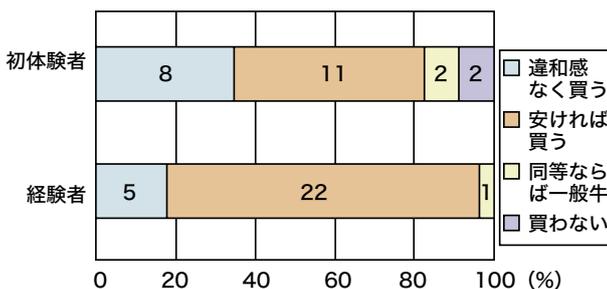


図2. 体細胞クローン牛肉の購入意識

の初体験者、経験者ともに、「安ければ買う」という回答が過半数を占めた (図2)。一方、後代牛に対する違和感について、初体験者 (回答数:19) では、「全くない」:16名, 「殆どない」:1名, 「少しある」:2名, 経験者 (回答数:23) では、「全くない」:23名であった。

3. アンケート票の意見欄に書き込まれた内容

試食した体細胞クローン牛肉への感想・注文

- クローンであるかどうかにかかわらず、良い肉はおいしい。
- 断面のサシの入り方なども見てみたい。
- ごちそうさまでした。準備ご苦労様でした。
- 肉質は、その他の和牛とさほど感じないが、A-3のあぶらぶんが多いと思いました。
- おいしいですね。
- 実際に食べてみると、違いがないことがわかります。
- 油が多いと感じます。後口に油の香とねばりが少し口に残りました。総体的にはおいしいと思います。
- 肉は、微妙な味付けで食味が全然変わることがわかった。
- 比較する和牛の値段 (いくら肉と比較しているのか) があったほうが良い。比較する和牛の個体識別番号もあった方が良い。

体細胞クローンに対する消費者理解の醸成

- 消費者に伝えることが大事。体細胞クローンを知っている人が少ないと思うので。
- 討議の終わりに、問題提起がありましたが、と畜を含めて畜産の現状を消費者に伝えることは非常に大事だと思います (体細胞クローンの理解促進のためには)。
- これまでの要素技術を体細胞クローン生産技術として体系化し、一般人にも理解できるマニュアルを出して「見える化」して欲しい。

体細胞クローン牛の販売・出口に関する意見

- 受精卵クローンと同様、体細胞クローンも任意表示で販売して欲しい。
- 生産効率を上げて、クローン牛が解禁されることを期待しています。試食を一般消費者向けにも積極的に行っていくべきだと思います。
- 恒久的に購入できるクローン牛の出口を作り、消費者に理解させるべきだ。
- 普通の牛肉として、手頃な価格で流通できる日を期待しています。
- 他の遺伝子組換え食品などに対する意識も変化しなければ、普及は難しいと思います。
- 体細胞クローン牛肉の早期市場化を望みます。

クローン研究への期待

- どんどん研究を進めて欲しい。
- 良い肉を作るため、是非、研究を進めてください。
- 大いに研究を進めていただき、一般消費者にメリットをもたらす成果を上げてください。

その他

- おじさんが「クローンみたいな気持ち悪いもん食えるか!」と言って困っています。

○ n.p

- クローン牛肉が消費者の方に受け入れてもらえるように、少なからず努力していきたい。そして、クローン研究が再開できるように務めていきたい。

以上、記載された全 24 名の意見等をそのまま掲載しています。

(農研機構畜産草地研究所 渡辺伸也)